

4. 先々月・先月の両園地探鳥会

①ほしだ園地(12月) 天田神社経由の私市集落でジョウビタキ・モズ・イソヒヨドリ、天野川に出てカワセミ、キ・ハク・セグロのセキレイ3種、そして上空を舞うイワツバメの群など、スタートから鳥が出てくれた。山地に入っても天野川にコガモ・カルガモ・カワセミ、林にルリビタキ・ジョウビタキ・カラの混群・ソウシチョウが出てくれました。ハヤブサが見えず、ツグミが1羽のみと残念だったが、帰りにベニマシコも出て、穏やかな小春日和に参加して下さった人々の前に、38種もの鳥が出てくれた。

②くろんど園地(1月) くろんど園地すいれん池近くでアオバト、園地内では木の実に来る小鳥、オオバヤシヤブシの実にはマヒワ・カワラヒワの群、アキニレと林床のアジサイの実にウソ・ベニマシコ、更にソゴヤカキの実に群れるメジロなどをたっぷり観察できた。奈良県側のくろんど池周辺では、松の葉先でホバリングしていた今日(資料)の鳥キクイタダキ、くろんど池にはオオバンが潜って取った餌の水草を横取りするヨシガモ、更に高山溜池にはオシドリなどの群など、次々鳥が出てくれました。寒い日でしたがコースの遊歩道に雪がなく、くろんど・ほしだ両園地探鳥会では最高レベルの種数40種・個体数428羽を記録した。

5. 日本野鳥の会大阪支部からのお知らせ

①北河内の定例探鳥会(2018年3月度)案内

山野も水辺も冬鳥が多く、一年中で最も鳥が楽しめる季節です。

曜日(月日)	場所	集合時間・場所	「のため変更」
第1(土)(3/3)	牧野(淀川)	9:00京阪牧野駅穂谷川堤防(3/4淀川寛平マラソン)	
第2(日)(3/11)	山田池公園	9:30現地公園北入口駐車場	
第3(土)(3/17)	緑の文化園	9:00JR学研都市線四条畷駅東口	
第4(土)(3/24)	くろんど園地	9:30京阪交野線私市駅前	

②日本野鳥の会入会時の会費

会員区分(内容)	おおぞら会員(本部+支部)	赤い鳥会員(支部のみ)	むくどり会員(支部・但し1年のみ)
年会費	7500円	3500円	1000円
入会金(初年度のみ)	1000円	1000円	—
会報 隔月刊(支部)	「むくどり通信」(本部)	「むくどり通信」(今年支部から鳥類目録)	「むくどり通信」

探鳥会初めての方、17年度は赤い鳥会員として入会しませんか。赤い鳥で大阪支部に入会して下さった方、大阪の鳥決定版、「大阪府鳥類目録」を無償でお送りします。

③探鳥会参加費 会員 100円 非会員 200円

参加費+名簿記入で探鳥会保険に入っていますが、痛みまでは保証しません。自分の安全を確認し鳥見を楽しみましょう。

(交野野鳥の会会員で、日本野鳥の会非会員の方は200円)

府民の森「ほしだ園地探鳥会」

(毎月第4土曜日 両園地通算第218回)

平成30(2018)年2月24日(土) 9:30~15:00

日本野鳥の会大阪支部 平軍二(090-6901-1425)

友田武・神戸徹・小田原正明・斉藤健

1. 交野の鳥シリーズ(76) ミヤマホオジロ

今月の鳥は、河村壽さんが2/15にほしだ園地で写された **ミヤマホオジロ** にしました。ホオジロ科の鳥で両園地の冬に観察できるのは、**アオジ>ホオジロ>カシラダカ** **≒ミヤマホオジロ** の4種で、冬の交野市での観察しやすさは、友田さん集約の「フィールドノート」から、上記の順になります。



ホオジロ科の鳥の餌は草の実、イネ科ススキなどのため、**ミヤマホオジロ(深山類白)**と名前に**深山**とついていても、深い森林の中ではなく明るい里山環境です。ほしだ園地・くろんど園地では草はらがあると越冬していることがあり、**ミヤマホオジロ**が観察できます。

この4種のホオジロ、姿が見えないときは地鳴きで見つけるが、何れも良く似た声なので識別が難しい。図鑑により、地鳴き表現が異なるが、大阪支部幹事でもある大西敏一氏著「日本の野鳥650」平凡社2014年発行では

ホオジロ：「ツツチッ」と2声続けて鳴く

アオジ：「ヂッ」と濁った声

カシラダカ：「チツチッ」「フチッ」など澄んだ声

ミヤマホオジロ：やや高い声で「チツチッ」など

となっていて、地鳴き表現に苦慮されたことがわかります。

ホオジロ科の地鳴きを、図鑑に書かれたカタカナ表記を覚えても現場で識別できないので、ホオジロ科の鳥を数多く観察し、その地鳴きを自分の耳に記憶しておくことが重要になります。

大阪近郊ではホオジロの仲間の住める草はらが減少し、最もポピュラーなホオジロ繁殖地が少なくなっています。そんな中、ほしだ園地・くろんど園地周辺で冬鳥のカシラダカ・ミヤマホオジロが観察できることは嬉しいことです。

